

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和4年度 第2回「健笑庵いくま」運営推進会議

※新型コロナウイルス感染症に配慮して、会議関係者に事業報告資料を送付し、紙面にて意見及び質問そして、要望を伺う方法で対応いたしました。

対象事業者名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵いくま」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日：(報告書配布日：令和5年1月27日)

開催場所：—

出席者：9名 ※会議関係者

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	2名
松江市職員	0名	包括支援センター	1名
知見を有する者	1名	その他	0名

【議事・議題】

1. ご利用状況(令和4年12月現在)

登録者数 (設置基準別) 17名	総合事業通所サービスA(緩和型)	4名(男性:0名、女性:4名)			
	総合事業通所サービス(従前型)	0名(男性:0名、女性:0名)			
	地域密着型通所介護	13名(男性:2名、女性:11名)			
介護度別登録者数	事業該当:0名	要支援1:4名(内、緩和型4名)		要支援2:0名(内、緩和型0名)	
	要介護1:6名	要介護2:7名	要介護3:0名	要介護4:0名	要介護5:0名
利用回数状況	週1回: 名	週2回: 名	週3回: 名	週4回: 名	週5回: 名
各月総利用数 (R4.7~12)	7月:130名	8月:105名	9月:128名		
	10月:132名	11月:142名	12月:129名		

2. 活動報告(令和4年7月~令和4年12月)

1) レクリエーション活動

7月	・七夕飾り作成 ・すいか割りゲーム ・曜日対抗ゲーム[風船リレー]
8月	・曜日対抗ゲーム[金魚すくいゲーム] ・誕生会 ・蓮の花見学
9月	・敬老会 ・朝の歌[秋バージョン] ・誕生会 ・曜日対抗ゲーム[積み上げゲーム]
10月	・運動会 ・誕生会 ・曜日対抗ゲーム[的入れゲーム]
11月	・芋ほりゲーム ・誕生会 ・白鳥見学 ・曜日対抗ゲーム[じゃんけんゲーム]
12月	・クリスマス会 ・年末そば昼食 ・朝の歌[冬バージョン] ・佐太神社参拝 ・曜日対抗ゲーム[ツリー飾付競争]

2) 日曜デイサービス

7月	一畑薬師参拝(参加者6名) 内容:一畑薬師参拝
8月	ペットボトルプランター作成、ビンゴゲーム(参加者4名) 内容:ペットボトルでプランターを作りカイワレの種まき、ビンゴゲーム
9月	運動会(参加者2名) 内容:ボウリング・玉入れなど、映画鑑賞
10月	フォーゲルパーク外出(参加者5名) 内容:フォーゲルパーク散策
11月	松江城紅葉鑑賞(参加者6名) 内容:松江城山公園で紅葉鑑賞、昼食/京らぎで外食
12月	望年会(参加者7名) 内容:職員によるジェスチャーゲーム、大合唱、昼食/一文字家弁当

3) その他の活動

畑・花壇作り:(年中行事)、防災訓練:(毎月)、洗濯物たたみ・歌唱活動・脳トレドリル:(毎日)

3. 相談および苦情受付状況・事故報告(対象期間:令和4年7月~12月)

1) <相談・苦情事例>

*この期間での受付はありません。

2) <事故事例 ※新型コロナウイルス感染関連も含む>

【事故分類】

○新型コロナウイルス感染者の発生について

【発生の概要】

○発生日：令和4年8月1日（月） AM9時ごろ

○状況：この日、出勤し、業務にあたっていた、介護職員より同居家族にコロナ感染陽性者が発生したと報告あり、本人、濃厚接触者に該当することから、業務を離れ帰宅する。本人にはこの時点で症状はなく、検査を実施。翌2日に陽性と判明する。

○対応：8月1日の連絡報告を受け、以下の項目について状況把握など適宜対応を実施。

①他職員及びデイ利用者との接触状況の把握並びに健康状況の把握

・マスクの着用、手指消毒の実施などの感染対策を実施していたことから、濃厚接触の該当者なし。但し、当日勤務の職員及びデイ利用者を接触者とする。

接触者10名（内訳：該当職員3名・利用者7名）

*接触者に対して継続的な健康観察を実施することとし、利用者の方には家族様に状況説明を行うとともに協力体制を仰ぐ（定時の検温及び体調確認）。

8/3、接触した該当職員については全員PCR検査を実施（陰性を確認）する。

8/4、該当利用者に対しては保健所の協力を得てPCR検査を実施することとする。各自宅に訪問し、検体を採取、保健所に提出する。（8/5PM、全員の陰性が判明する）

②デイサービスの営業受入について、対応を検討

・8/3（水）～7（日）の受入れを休止する。関係者の健康状況及びPCR検査の結果より、8/8（月）から受入れ再開とする。

③その後の対策等について

・基本的な感染対策を徹底することを申し合わせる。特に職員が感染の起点になる可能性については再度点検し、早めの対応を行っていくことを確認する。

3) <ヒヤリハット対象事例>

*この期間での該当はありません。

4. 研修会および勉強会

【外部研修】

*この期間での実績はありません。

【内部研修】

実施日	研修会・勉強会内容	参加者
7/19	デイ会議（ケース検討会）	3
8/23	デイ会議（ケース検討会）	3
9/14	デイ会議（ケース検討会）	3
10/10	デイ会議（ケース検討会）	3
11/6	デイ会議（ケース検討会）	3
11/18	救急時対応について（講師：松江市南消防署湖南出張所救急隊員）	13
12/4	デイ会議（ケース検討会）	3

5. ボランティア、福祉体験等受け入れ状況

*この期間での実績はありません。

6. 業務継続計画（BCP）の策定に関わって

令和3年度介護保険法の改正に伴い、当事業所を含む指定介護事業者は、感染症や自然災害等の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するため、また非常時の体制で早期の業務再開を図るための「業務継続計画（BCP）」策定し、それに従い必要な措置として、研修や訓練、また計画の修正など平時からの備えを行うよう義務化（令和6年3月31日迄は努力義務）されています。

弊社ではこれを受け、令和5年度中の計画策定の完了を目指し取り組んでいるところです。策定の内容項目、また策定上の課題は以下の通りです。

○策定内容

①感染症に係る業務継続計画

a 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など

b 初動対応：感染確認からの対応手順など

c 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

②災害に係る業務継続計画

- a 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- b 緊急時の対応：対応体制など
- c 地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

③研修について

- a 業務継続計画について職員間で共有
- b 災害に対する知識と備えの理解の励行
- c 感染症予防とまん延防止のための研修の機会

④訓練について

- a 計画に基づく役割分担の確認、実践するケアの演習を行う
- b 年一回以上の定期的開催

○『健笑庵いくま』における、策定上での課題及び問題点

- ①従業者数が少数のため、体制上の役割分担が兼務重複する。
- ②また従業員の代替えや緊急補充に限界があり、災害時のケア体制が不十分である。
- ③通所介護の単独サービスのため施設を利用する支援には限界がある。
- ④災害状況やその程度により、段階的な体制構築が必要となることから策定が複雑多岐に及んでいる。
- ⑤事業規模に応じた実施可能な計画査定が必要である。

7. 新型コロナ感染症や市場の価格高騰による通所介護事業運営への影響について

3年を超える、新型コロナ感染症の影響は、当通所介護事業所の運営に次第に大きなものとなっています。感染対策としての業務や環境は標準化してまいりましたが、感染発症に関連し、当事者である場合は事業所との関わり方に応じて事業所の一時休止の処置を講じたり、濃厚接触者も含め一定期間の外出停止等により、職員の場合は業務へのしわ寄せが必然となり、利用者の場合は一定期間の欠席や自主的な利用控えなどにより、利用者減少に繋がる状況が運営上、深刻な問題となっています。また、それに加え昨年来より物価高騰による影響を受け、このことも併せ事業所継続の問題といっても過言ではなく、今後の事業所を運営する上で更に深刻な課題となっています。当事業所でも可能な範囲で業務の効率化を図るなどの処置を講じているのですが現状では打開策に至っていないのが現状です。当事業所は開設時より一貫して少人数へのケアを基本とした個別支援に取り組んでいます。その「個人」が地域で暮らしていくことを何よりも大事に考えて、そのための通所介護事業所として多くの皆様にご活用いただいております。しかしながら、要支援者の介護保険からの切り離しや介護報酬の内容などこれらの現状に乖離した状況がますます鮮明になっているように感じています。私ども事業所は「地域密着型」として、この市内地域の現状に即した介護サービスであるべきと考えております。「介護の問題は地域にあり」という認識のもと地域の一員として、更なるサービスの質の向上を目指していく所存です。今後ご支援、ご指導を賜りますよう宜しくお願い致します。

8. 報告に対する質問意見及び要望

〈意見・要望〉

1) 「利用状況」について

- ・週3回利用しています。自宅では入浴するのが大変なのでデイで入浴してくれるので助かっています。用事がある時に臨時での利用も対応してくれるのでありがたいです。[利用者家族]
- ・職員の方が色々な事を考えてくれるので良い。職員が皆よくしてくれるので安心して利用できている。[利用者]
- ・利用者及び家族が安心して利用できるように引き続きケアマネージャーと連携して調整、対応をお願いします。[包括支援センター]

2) 「活動報告」について

① 「レクリエーション活動」について

- ・色々工夫されて活動されていると感じます。[地域民生委員]
- ・コロナ禍で活動に制限があると思いますが感染防止対策を行いながら活動をされ感心します。[地域寿会会長]
- ・曜日対抗ゲーム大会など、毎月季節に合ったゲームが楽しい。外出する事が楽しみなので外出する機会を増やして欲しい。[利用者]
- ・利用者は毎日、楽しみにされていると思います。感染対策を行いながら可能な範囲で活動をお願いします。[包括支援センター]
- ・職員が少数で大変かと思いますが無理の無い様をお願いします。[利用者家族]

② 「日曜デイサービス」について

- ・まだまだコロナ禍ではあるが以前に比べると外出することが多くなった。もっと色々な場所に連れて行って欲しい。

日曜デイを楽しみにしています[利用者]

- ・外出は利用者にとって非日常的で好ましいと思います。[地域民生委員]

③その他の活動について

- ・手先を使う活動が配慮されている。メニューを計画的にされていて良いと思います。[地域民生委員]

3)「相談及び苦情受付状況・事故報告」について

- ・職員のコロナ感染発生について早急な対応ありがとうございました。引き続き感染対策をお願いします。[包括支援センター]
- ・コロナ感染発生に対し、的確な対応されており信頼感を感じます。利用者の受け入れ制限は経営的には厳しいでしょうし、利用者側も利用サービス制限され辛いところですね。[地域民生委員]
- ・コロナ発生による大きな損失は日々報告され貴事業所も8月は大変でした。[地域寿会会長]

4)「研修会及び勉強会について」

- ・救急対応の体験研修は重要であり良いと思います。[地域民生委員]

5) ボランティア等の受け入れの状況

(特になし)

6) 業務継続計画(BCP)の策定に関わって

- ・最初から100%目指さず基本的な事を先ずは進める方が良いと思います。経験、検討を行い、改善を重ねていけば良いと思います。[地域民生委員]
- ・業務継続計画(BCP)の策定は出来ることから取り組んで地域(自治体)と協力しながら段階的に構築を考えてみられたらどうか。[介護事業所理事長]

7) 新型コロナウイルス感染症や市場の価格高騰による通所介護事業運営への影響について

- ・この社会状況の中で可能な範囲で地域での介護サービスに尽力して頂いています。今後も利用者様への細やかなサービス提供をお願い致します。[包括支援センター]
- ・私達の法人でクラスター発生し約1か月間隔離や一時休止をした。職員の業務へのしわ寄せ、過重労働となり深刻な問題となった。今後の感染症に対する行政の対応も一考したい。[介護事業所理事長]
- ・なかなか終わりが見えなく不安ですが自宅でも感染予防対策をしていきますので引き続きよろしくお願ひいたします。[利用者家族]
- ・近年の物価上昇、賃金が上がらない問題を政府や行政が何か対策を考えないと事態が、益々厳しくなると思います。また政府の財政支援などが継続されないと事業所も経営困難だと思ひます。[地域寿会会長]
- ・新事業の展開(買い物、通院の交通弱者増加への対応)を検討されてみてはいかがでしょうか。[地域民生委員]

〈質問〉

Q: 毎月の防災訓練の内容を教えてください。[包括支援センター]

A: 主に自宅で生活する上での火災や地震時の避難方法を想定して防災訓練の勉強会の場と考え取り組んでいます。デイサービス利用時の防災訓練としては避難時の注意事項と避難経路の確認、勤務職員の避難誘導時の役割確認を行っています。

【実施内容】

実施日	訓練の内容	参加者数(内職員)
7/25	地震災害について	9(3)
8月	(実施無し)	-
9/1	デイ利用中の火災時の避難と地震発生時の対応について	6(3)
10/7	火災について	8(3)
11/28	火災について:	9(3)
12/20	地震災害について	9(3)

〈その他:意見・要望など〉

- ・これから益々、高齢者人口が増え、デイサービスや施設を利用する方が増加し重要なサービスだと思ひています。介護が必要な方が確実に利用できるように国や行政にきちんと政策をしてもらひたい。[地域寿会会長]

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○